

捻回用途における信頼性の高い通信を確保

## チェーンフレックス IO-Linkケーブル

イグス株式会社（東京都墨田区）は、ロボットでの捻回使用に耐えられる2種類のチェーンフレックス 可動ケーブルをIO-Linkケーブルのラインアップに追加しました。このIO-Linkケーブルは、イグスの社内試験施設で2,200万ストロークの試験をクリアしています。また、現在入手可能な類似性能を備えたケーブルよりもコスト効率に優れています。

IO-Link は、センサーやアクチュエータなどのデバイスと接続し双方向のデジタル通信が可能な IEC 61131-9 で規定された通信規格です。IO-Link 技術により、お客様はいつでもセンサーやアクチュエータの状態を監視し、通信することができます。

この通信に使用される IO-Link ケーブルは、小さな曲げ半径で高負荷に対応でき、また、ロボットのねじれ動作にも耐えられることが必要です。今回ラインアップに追加されたチェーンフレックス CF77.UL.D シリーズの 2 つのインシエータケーブル CF77.UL.03.05.INI と CF77.UL.03.05.INI.D は、いずれもエナジーチェーン ケーブル保護管内で高度な要求に対応し、 $\pm 180^\circ/m$  の捻回使用に耐えられるよう設計されています。この IO-Link 用の CF77.UL.D シリーズには、一般回路用の灰色と安全回路用の黄色の 2 種類の外被色があります。許容曲げ半径は  $6.8 \times d$  で、狭い設置スペースにも適しています。さらに、他の曲げ半径の小さい IO-Link ケーブルと比較してコスト効率が優れています。



## プレスリリース

2021年3月19日

### 2,200 万ストローク試験済みの IO-Link ケーブル

チェーンフレックス IO-Link ケーブルは、3,800mm<sup>2</sup> のイグス試験施設において 6.4 x d の曲げ半径で 2,200 万ストロークに耐え、長寿命を実証済みです。イグスではこの新しい IO-Link ケーブルをハーネス処理し、M12 / M8 / M5 コネクタを備えたハーネス済みレディーケーブルとしても提供しています。

イグス社内試験施設での試験結果について、詳しくはこちらをご覧ください。

[テスト 4869 の結果 \(※英文\)](#)

以上

### イグス株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 15 階

Tel: 03 (5819) 2030 (代表)

<https://www.igus.co.jp>

#### <製品についてのお問い合わせ>

Tel: 03 (5819) 2500

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: [helpdesk@igus.co.jp](mailto:helpdesk@igus.co.jp)

#### <プレスリリースについてのお問い合わせ>

Tel: 03 (5819) 2057

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: [aokumura@igus.net](mailto:aokumura@igus.net)

"igus", "energy chain systems", "energy chain", "e-chain systems", "chainflex", "iglidur", "igubal", "drylin", "readychain", "triflex", "roboLink", "easy chain", "motion plastics" は、igus GmbH の登録商標です。"dry-tech", "ジッパー", "isense", "smart cable chainflex" は、イグス株式会社の登録商標です。